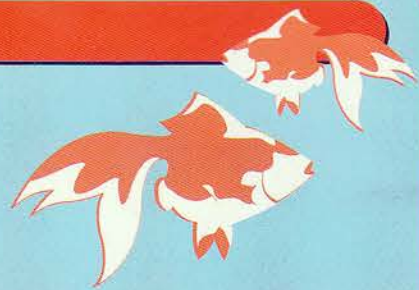


# 中野養鯉場産の改良金魚について



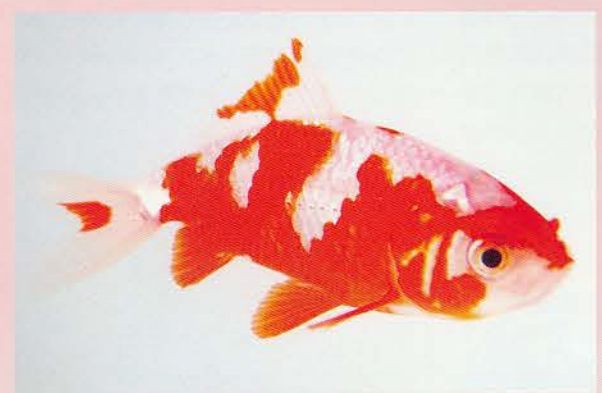
奈良県大和郡山市の中野重治さんは、丈夫な和金タイプの改良金魚を作ることとを目的として、新しい金魚の開発に着手して、今年で18年目を迎えた。今回は特別レポートとして、そんな珍しい金魚たちを紹介してみよう。

※尚、ここに紹介した改良金魚たちには、すべて黒龍(黒い錦鯉)の血が入っている。



## ●平成倭 (普通鱗和金)

免疫力の改良、向上、病気に強いフナ尾タイプの金魚。模様が左右対称に近い大きな模様、鮮明な地色を目指している。模様を中心に追っていたので、満足いくものができるのが遅くなってしまった。錦鯉の血は他のものに比べて少ない。



## ●曙倭 (普通鱗和金)

平成倭をより観賞魚らしくしたもの。三ツ尾四ツ尾タイプである。尾筒が太く腹が赤い。特に模様のバランスを対称に近づけた。



## ●スケルトン (透明鱗和金)

色のない透明鱗の魚。最近では三ツ尾、四ツ尾タイプが中心。



三ツ尾タイプ



三ツ尾タイプ

## ●シルク桜 (モザイク透明鱗和金)

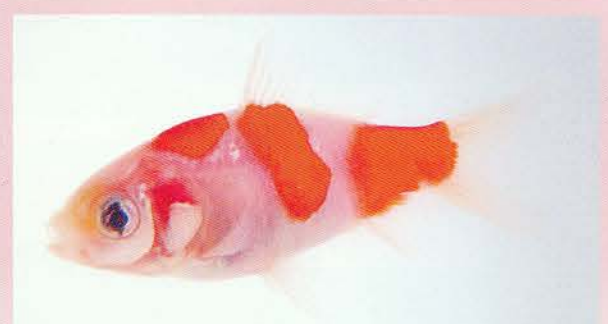
錦鯉とのハイブリッドでフナ尾、三ツ尾タイプがある。模様にそれほどこだわらなかったため、比較的早くできた。



フナ尾タイプ



フナ尾タイプ



## ●シルク桃山 (模様が大きいモザイク透明鱗和金)

体色が特に鮮明。模様が左右に大きく位置する。



## ●雅三景(モザイク透明鱗三色)

長平型、フナ尾、地色は白で模様は赤と黒の三色で成り立っている。混色性がないのが特長。後墨が出ることもある。



## ●五色和金(モザイク透明鱗和金)

背高であり、丸型に近い。五色の色が奥深く、地模様は玉虫色の輝きを見せる。2歳3歳魚は特に良い。

## 幸運の七夕金魚

中野さんは、従来の金魚すくい金魚を、ただ赤一色では無く、七夕金魚として、和金、平成倭、シルク桜、スケルトン、曙倭、五色和金、黒龍錦と言う、7品種の金魚の稚魚たちを混泳させて市場に供給している。これは、願い事を笹飾りに書く七夕祭りに置き、幸運願いを求め、病気に強く美しい金魚をと、永年の努力の結果をかけて開発に成功したものであると言う。

